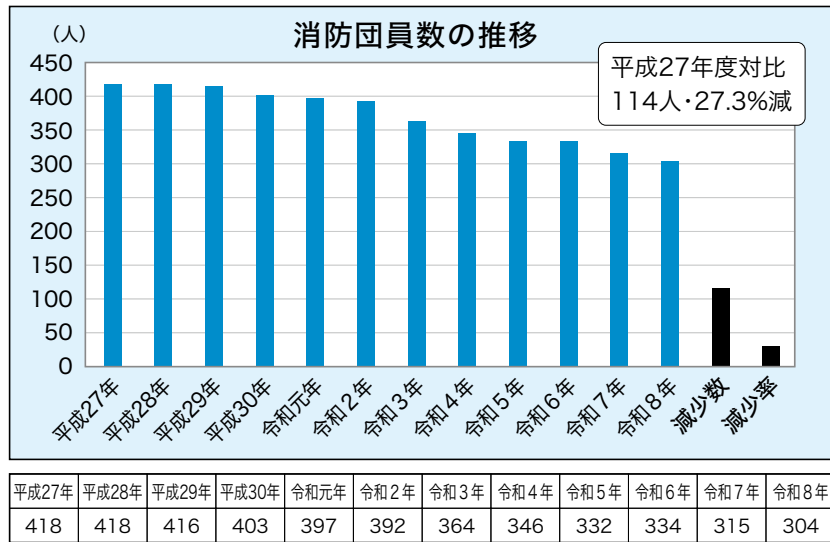




あらさわ ひろみつ
荒澤 広光 議員

消防団現状と 組織再編の必要性は 安心して活動できる環境を整備



質問 町では消防団組織の強化と団員の処遇改善を進めてきていると認識していますが、現在の団員数は304人で10年前と比較し14人減少しているが施設や車両の維持管理が困難になっている部は無いのか伺います。

町長 現時点において施設や車両の維持管理が困難であるという問題は出ていません。しかし地域によって団員数に差があり、今後の確保について不安を抱えている部もあることから、引き続き各部の現状を注視し支援の在り方を検討していきます。

質問 各部で消防ポンプ小屋や消火栓、防火水槽等の施設維持管理も行っていきますが、各町内会からの補助金で備品等を購入し管理を行っている部もあるようですが現状は。

町長 令和6年度から消防水利施設の整備に対する町内会負担を無くし、消防ホースの配布や消防ポンプの修繕、積載車の整備などの消防活動に必要な主要設備についても町予算で対応しています。一方各部ではホース格納箱の購入や消火栓の囲いの設置、必要物品の購入を行っていると思います。各部の実情を整理し、できる限り支援を行いたいと考えています。

質問 団員数減少に伴う団員への負担軽減を目的に、組織の再編を含め見直しを行う必要があると思いますが。

町長 今後は団員数の減少により、現行体制の維

**災害復旧状況と災害への備えを
土地の確保に向け調査を進める**

質問 令和6年豪雨災害では崖崩れ、法面の崩落により大量の土砂、残土が発生し建設業者では対応に苦慮しているのが現状です。

町独自の残土置き場の確保が必用ではないか伺います。

町長 頻発する自然災害に備え、残土置き場を確保する必要があると考え

令和6年災害（豪雨）
町単独の災害復旧工事の進捗状況

	農地	農業用施設
災害箇所数	82	145
発注済み数	72	125
完成数	72	125
今年度完成	10箇所	20箇所

令和8年度で復旧工事がすべて完了見込み

民家からある程度離れた土地や沢、水路等に悪影響を及ぼさない場所と考へており、土地の確保に向けて調査検討を進めたいと考えています。



いとう ひろよし
伊藤 廣好 議員

防犯カメラ増設で町の安全強化

他自治体の動向を注視し検討

質問 クマ出没による被害が相次いでおり、情報の「可視化と迅速化」や園児・児童生徒の安全確保の観点から、プライバシーに配慮し、AI付き防犯カメラを年次的に町内要所に設置の必要性をどう考えているか伺います。

町長 「可視化と迅速化」は町民、とりわけ園児・児童・生徒の安全確保する観点から重要な課題と認識しています。

しかし、AI付き防犯カメラの導入には課題があります。第一に、導入に加え、維持費用などの費用面です。第二に技術面の課題があります。第三にプライバシーへの配慮が不可欠であります。当面は、他の実証実験を見守り、国・他自治体の動向を注視し、対応を検討していきます。

質問 クマ対策に一步踏み込んで「安価で簡便」な設備も製品化の見通しもあり、通学路やクマ出没の頻回なルートに設置し、役場、学校へのシス

テムの構築が急務であり、製品の購入や実証実験も検討すべきと思うが、町の考えを伺います。

農業振興課長 長井市の取組事例は可搬式カメラで、メールを市のパソコンに送信、休日・夜間の即時対応には課題があります。また、クマ出没付近でドローンを使って巡回は効果的と聞いております。今いろんな事例を調べて検討しています。

**協力隊の増員と起業・定住支援を
募集は必要に応じて見直す**

質問 町の地域おこし協力隊の募集方針について伺います。



前協力隊員が経営する「ぶっくかふえこほんこほん」(猿羽根山)

「若者定着支援、縄文の女神による町づくり」などに興味をもつて取り組む方を募集する考えはないか伺います。

まちづくり課長 空き家対策については移住交流コーディネーターの方で空き家の紹介もできているのではないかと考えています。